

令和元年度 事業計画

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

1 基本方針

新元号令和が5月からスタートした。

主な観光動向としては、ラグビーワールド杯が2019年に開催され、2020年には東京オリンピック、パラリンピックの開催など、多くの人の移動が予想される。また、静岡デスティネーションキャンペーンの本番の年であり、4月～6月に広告宣伝、プロモーション活動などが集中的に行われ、全国に情報発信される。

富士宮市においては、世界文化遺産の富士山と構成資産（富士山本宮浅間大社、村山浅間神社、白糸ノ滝など）をはじめ、朝霧高原・田貫湖などの景勝地、富士五山（大石寺、北山本門寺、久遠寺、西山本門寺、妙蓮寺）など由緒ある神社仏閣、富士の巻狩りや曾我物語、織田信長公の首塚など旧跡、伝承等々の優れた観光資源があり、国内外から多くの登山客を迎え、富士山表富士宮登山口から富士山頂を目指す。

流鏝馬まつり、富士山まつり、富士宮まつり、信長公黄葉まつりなど特色ある行事、各種イベント、スポーツ大会などもある。

地域ブランド「富士宮やきそば」や市の魚「にじます」、酪農品、農産物など、富士山の恵みによる「食によるまちづくり」にも取り組んでいる。

平成29年12月にオープンした静岡県富士山世界遺産センターは、「永く守る」「楽しく伝える」「広く交わる」「深く極める」を4本柱に世界遺産富士山を紹介するもので、60万人以上の入館があり、浅間大社と相まって市街地のランドマークとなっている。

ラグビーワールド杯や2020年度の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて行政と協力して情報発信、誘客などに努めるほか、台湾をはじめ中国・韓国などアジアから個人旅行を中心とする観光客に対しては、世界遺産富士山の歴史や文化のほか、アウトドアなどの各種体験を、富士宮市の観光資源を生かして、多様化する国内外からの観光客のニーズに対応するよう市とも連携を図る。

富士宮の地域性も生かし、富士山（富士登山）観光を中心に、四季ごとの催事（行事、イベント）と併せた誘客企画を首都圏、中京圏、関西圏等の旅行エージェントやメディアへ情報発信するなど誘客宣伝を図り、第3次富士宮市観光基本計画（富士宮市計画）における「何度も訪れたい観光都市」を目指して、行政及び観光関係者等との連携しながら継続的に観光情報の発信や誘客宣伝事業などを推進する。

2 基本計画の柱

① 情報発信の充実

世界文化遺産「富士山」や富士山本宮浅間大社、白糸ノ滝などの観光施設やさまざまなイベントを情報発信するとともに、フェイスブックやInstagramなどを通じて地域の魅力の発信・充実を図る。

② 誘客活動の推進

滞留・滞在型観光に向けての交流人口の拡大を図る。

富士登山団体ツアーの誘客、外国人客の誘致をはじめとする富士山観光や、イベントやさまざまな行事を通じて誘客活動を推進するとともに、静岡デスティネーションキャンペーンなどとも連携しながら広域的な観光事業の推進を図る。

③ 観光客受け入れ体制の充実

観光案内所の機能を充実するとともに、おもてなしや案内所の利活用を図る。

これらを基本として、富士宮市の観光振興施策と連携し、協会員及び市、県をはじめ関係諸団体との密接な連携を図りながら、令和元年度の諸事業に取り組む。



静岡 DC

(デスティネーションキャンペーン)

地方自治体、地元関係者等と JR グループ 6 社及び旅行会社が協力し、開催期間の 3 ヶ月間に重点的かつ集中的な広告宣伝やプロモーション活動を実施することで、全国から観光誘客を図り活性化させることを目的とする観光キャンペーン

富士宮市では世界遺産センター、浅間大社やダイヤモンド富士などを中心に PR する

2018年4月～6月 プレ

2019年4月～6月 本番

2020年4月～6月 アフター

3 実施事業計画

定款に定める観光協会の目的である観光事業の振興、地域の活性化に貢献、地域文化の向上、地域産業の発展に寄与するための諸事業を実施する。

I 公益目的事業

1 観光誘客・観光振興事業 (定款4条第1号～第5号関係事業)

(1) 観光情報発信事業

観光情報を取りまとめたポスターや観光パンフレット等を作成、送付するとともに、インターネット、フェイスブック、インスタグラムなどITやさまざまな媒体により、富士宮市の観光情報の発信、誘客につながる事業を実施する。

ア インターネット等による観光情報発信事業

観光協会ホームページなどをはじめ、フェイスブック、インスタグラムなどのITを通じた観光情報の発信を行う。

イ 観光パンフレット、ポスター等作成、送付事業

観光情報を効率的に、魅力的に提供するパンフレットやマップ、イベントポスター、まちなか・商店街活性化のためのまち歩きマップなどを作成、配布し観光客に提供するとともに観光誘客を図る。ポスター等を作成配布し、観光誘客促進を行うための事業を実施する。

①観光パンフレット送付事業

るるぶ富士宮をはじめ、観光マップなどのパンフレット、富士宮市観光ガイドや富士登山ガイド等を、旅行関係業者、一般旅行者等からの依頼に応じて送付し、観光客誘致に努めるとともに、観光客や観光キャンペーン等で配付する。

②観光パンフレットの作成

るるぶ富士宮の充実を図るとともに、必要なパンフレットを継続作成する。

③ 流鏝馬まつり及び富士宮まつりポスター等作成事業

富士山世界文化遺産の構成資産である富士山本宮浅間大社の伝統的な祭り「流鏝馬まつり」及び「富士宮まつり」に協賛してまつりのポスターを作成、市内外からの観光客等に周知と啓発活動を行う。

ウ 各種旅行雑誌やメディアを通じての観光情報発信事業

新聞やメディアをはじめ、各種旅行雑誌は、多くの人に情報を発信することができ

る。こうしたツールを活用し、富士宮市の主な行事や見どころなどの情報を発信する。

エ 協会機関誌を通じた誘客宣伝事業

富士宮市内の観光資源、イベント、観光協会の活動状況等の情報を掲載した協会機関誌「いずみ」を発行する。会員に配布するとともに、ネットに掲載し情報提供を行う。

オ 富士宮観光宣伝

「富士宮誘客大使館」（平成25年度～）は、登録した方に、年間イベントスケジュール、まつりポスター、観光ガイドパンフレットなどを活用し、富士宮の観光宣伝をしていただく制度である。

（東京都内2、富士市1、富士宮市1）

（2）観光誘客・イベント事業

イベントの企画・運営や観光展を初め、さまざまな団体との共同による誘客活動などを通じ、積極的に観光誘客に務める。

ア 観光誘客業務・観光物産の紹介事業

観光展や誘客イベント、観光物産の紹介などの事業を通じて、情報発信を行うとともに、観光誘客を展開する。

① 観光誘客事業の取り組み

観光誘客に向けたイベント企画等を実施するとともに、市内外への情報発信に努める。また、県観光協会などが実施する旅行エージェントやブロッガーなどの招聘に伴う富士宮市の観光施設見学などを通じ、旅行プランの企画など誘客に向けた取り組みを行う。

② 富士山世界文化遺産のまちのPR及び観光物産展の開催

富士山世界遺産のまちのPR及び物産展を中心に、四季ごとの行事、イベントと併せた誘客企画プランを積極的に首都圏、中京圏、関西圏の旅行エージェントにPRする。

③ ふじのみや門前市まつりの開催

富士宮やきそばを始め、富士宮やきそばを初めとする食のPRと中心市街地の活性化を目的に特産品振興会と共催で開催する。

市内物産や野菜などの販売を通じて、食のまちのPRを行う。

イ 富士登山客誘致促進事業

富士山表富士宮口登山組合等と連携して、観光展や登山説明会などで富士登山をPRするとともに、富士宮駅観光案内所への懸垂幕設置により、富士山観光の情報発信と富士登山誘客促進に努める。

ウ 富士山お山開き事業

富士山お山開きは、富士登山の幕開けを告げる行事で、夏山開山を全国に情報発信する。

富士山本宮浅間大社では、正式参拝や登山の一番バスの安全祈願、夏山開山宣言、地元の手筒花火の奉納など、富士登山期間中のさまざまな取り組みの関連諸行事を行う。村山浅間神社では、護摩炊きなどの神事のほか、お山開き式などを行い、村山登山道のあった地域で関連行事を行う。

両会場共に、外国人で最初に富士登山を行った初代英国公使オールコック卿との縁で、英国と地元地域との国際交流を推進する。

また、開山に併せてミス富士山コンテストを行い、富士宮市の観光大使であるミス富士山を選抜するとともに、地域の特徴である和紙を使った紙あかりなど、さまざまな事業を展開する。

なお、関連事業として江戸時代から富士川沿線で続く伝統行事である、逢来投げ松明を地元関係者により実施する。

エ 富士の巻狩りまつり事業

富士宮市北部に広がる白糸周辺は古くから、曾我の仇討ちや源頼朝の巻狩りに因んだ史跡も多く歴史や文化のある地域である。また、狩宿には、下馬サクラ（駒止めの桜）があり、日本五大桜にも数えられている。

こうした歴史に因む行事を狩宿地区、白糸地区で行うことで、北部観光の情報を発信するとともに富士宮市の観光誘客を図る。

※ 事業概要

白糸ノ滝、狩宿の下馬桜周辺は、源頼朝による富士の巻狩りの伝承、史跡等が数多く残り文化的価値のある景勝地である。これらの歴史を踏まえ、白糸ノ滝、狩宿下馬桜、陣馬の滝などにおいて地域の活性化と観光振興を目的として開催する。

① 狩宿下馬桜観光文化事業

毎年4月に、国の特別天然記念物「狩宿下馬桜」の開花時期などに合わせて、「狩宿菜の花さくらまつり」を井出本家、地元狩宿区の皆さんの協力のもと、短歌会、舞台公演、狩宿狂言、お茶会などを実施する。

また、白糸地区が和紙の原料となる三椏栽培が盛んであったことから、手漉き和紙の体験事業などを行うとともに、イベント会場周辺では、狩宿区の協力により菜の花を植栽し、桜と菜の花を楽しめる演出を行う。

② 曾我物語関連事業

まつり周辺地区は、富士の巻狩りや曾我兄弟の仇討ちにまつわる地域であり、工藤祐経公の墓所もあることから、曾我物語供養祭を実施するとともに、周辺地域の回遊性を高めるためのウォーキングなどを実施する。

③ 陣馬の滝まつり

陣馬の滝周辺において猪之頭区民関係者による鎌倉時代の往時を偲ぶイベントを行う。

オ 各種団体等と連携した誘客宣伝事業

富士地域及び静岡県内観光関係団体などと連携して、富士地域への観光客誘致を目的に各種事業（広域的な観光物産展や観光客誘致の協議会活動等）を実施する。

カ 富士山世界文化遺産関連事業の実施

富士山世界文化遺産の構成資産を巡るバスや観光タクシーの運行により、富士山世界文化遺産を見学する観光客に対する公共交通サービスを市、交通事業者等とともにPRする。

また、富士山世界遺産センターを含め、情報発信や誘客事業などを行う。

キ ウォーキング事業等の実施に伴う連携

JRをはじめ、富士宮歩こう会などの各種事業との連携強化を図る。

(3) 公共広場利用事業

公共広場の管理を行うと共に利用者への観光情報発信を行い、広く利用に努める。

ア 白糸ノ滝公衆トイレ清掃管理事業

白糸ノ滝駐車場の一角に整備された白糸ノ滝公衆トイレ（平成25年4月完成）を富士宮市から受託事業として清掃管理を行い、白糸ノ滝来訪者の利便に供し、広く観光公益事業として実施する。

イ 公園、運動場利用事業

富士宮市の歴史伝統的な祭り（流鏝馬まつり、富士宮まつりなど）やイベントの際に、市内の公園、小中学校の運動場などを臨時駐車場として無償貸与し、市街地中心

部の交通渋滞の緩和と観光客の利便性向上を図る。

(4) 観光案内事業

富士宮市を訪れる観光客に適切なアドバイスを行う。

ア 観光案内所での案内業務

観光案内所（JR 富士宮駅前など）における観光案内業務を実施し、観光施設や名所、旧跡などの紹介、観光ルートの紹介、その他関連の各施設の案内などを実施する。

- ① 富士宮駅観光案内所、新富士駅観光案内所及び夏季開設する富士山五合目総合指導センターなどにおいて、観光客の各種相談や電話照会、問い合わせや新聞、ラジオ、テレビ、雑誌社等のメディアに対するイベント等の情報提供を行う。

また、外国人の登山者や来訪者に対応するためテレビ電話を使った通訳アプリによる9ヶ国語（英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語、ベトナム語、タイ語、フランス語）の通訳案内を行う。（平成26年7月～実施）

- ② 観光ガイドボランティア案内事業

「富士宮市観光ガイドボランティアの会」は、浅間大社を中心に、白糸ノ滝などで観光案内（富士宮市内の観光地、観光施設、宿泊施設、飲食店等の案内）を行っている。

観光客との交流、地域文化の紹介等、富士宮の観光魅力のPRなどを、水先案内人として、浅間大社境内「寄って宮」や富士宮駅前観光案内所を補完する観光案内業務を行っていただく。

イ その他案内所での案内業務

駅前の観光協会案内所以外の新富士駅観光案内所、浅間大社での観光案内などにより、幅広く富士宮市の観光案内を実施する。

- ① 新富士駅観光案内所業務

JR 東海道新幹線「新富士駅」に富士地域（富士宮市・富士市）の観光関係団体で共同の観光案内所を設置。JRを利用して富士地域を訪れる観光客等に対する観光案内（旅行相談、観光施設の案内、イベント情報）の提供等コンシェルジュ的な役割を担い、富士地域全体の観光振興を図る。

- ② 白糸ノ滝観光案内所業務

白糸ノ滝公衆トイレに併設された観光案内所において白糸ノ滝を訪れる観光客等に観光情報を提供する。

ウ 富士山登山ナビゲーター業務

夏季期間中に富士登山を目指す観光客に対して、適切な登山指導を行うと共に、周辺観光についての情報提供を行う。

(5) 人材育成・交流事業

現在の観光を巡る状況はめまぐるしく変化している。またインバウンドによる海外旅行者の増加もあり、観光の範囲は広がっている。こうした状況を踏まえ、観光振興によるまちづくりや観光客の受入れ体制など、セミナーや各種調査研究、先進地の事例研究、資料の収集などを行う。また、富士宮市の都市提携などによる交流事業を実施することで、相互の交流人口の拡大や観光情報発信などを図る。

ア セミナー、人材育成等事業

セミナーや講演会などを通じて、観光に従事する人材を育成する。また、先進地の事例研究や資料収集などを行い観光推進、人材育成を図る。

イ 国内外の提携都市等との交流事業

富士宮市は滋賀県近江八幡市と全国でも珍しい夫婦都市提携をしている。観光協会では、両市の観光的友好関係の推進のため交流事業を実施し、こうした交流事業を通じて情報発信と交流人口の増加を図る。

富士宮市の国内外の提携都市（小浜、帯広などの食の提携、韓国栄州市、台湾台南市、中華人民共和国紹興市、アメリカサンタモニカ市など）等との親善交流を通じて観光情報を発信し交流を図るなど協力する。

※ 主な交流事業の概要（富士と琵琶湖を結ぶ会）

近江八幡市民及び富士宮市民でそれぞれ結成している「富士と琵琶湖を結ぶ会」が、毎年実施する相互親善訪問（近江八幡市民による「富士登山」などを7月に、富士宮市民による浅間大社湧玉池の霊水を琵琶湖へお返しする「お水返し」を11月に実施）の諸行事を通して、両市の行政、観光関係者が連携し、夫婦都市としての交流を深めている。（都市提携 昭和43年8月）

Ⅱ 収益事業

(1) 白糸ノ滝駐車場運営等管理事業

白糸ノ滝駐車場の運営管理については、白糸ノ滝における唯一の公共駐車場として、利用者の安全性に配慮し適切な管理運営に努める。

また、単なる収益事業だけではなく、富士宮市の北部地域の観光情報発信拠点としての役割を果たすため、観光案内所を兼ねた施設として世界遺産の情報や観光パンフレットなどを置き観光客に配布するなどのPR活動を行っている。

事業の収益は、借入金の返済に充てるほか、公益事業会計への繰入や白糸ノ滝をはじめとする観光誘客のための情報提供などの費用に充て、北部地域と白糸ノ滝周辺をはじめ、富士宮市への観光誘客に貢献する。

また、観光案内所を中心に、観光客への利便性向上のための貸ロッカーなどを設置し、サービス向上に努めるほか、駐車場の環境保全（公衆トイレの清掃、花壇整備など）に努めるとともに、白糸ノ滝を訪れる観光客に対するおもてなし向上に努める。

白糸ノ滝駐車場運営については今後も安定した財務運営に努める。